

夕凧の街 桜の国



[夕凧の街 桜の国 下载链接1](#)

著者:この 史代

出版者:双葉社

出版时间:2004/10

装帧:コミック

isbn:9784575297447

出版社/著者からの内容紹介

昭和30年、灼熱の閃光が放たれた時から10年。ヒロシマを舞台に、一人の女性の小さな魂が大きく揺れる。最もか弱き者たちにとって、戦争とは何だったのか……、原爆とは何だったのか……。漫画アクション掲載時に大反響を呼んだ気鋭、この史代が描く渾身の問題作。

内容（「MARC」データベースより）

昭和三十年、灼熱の閃光が放たれてから十年。ヒロシマを舞台に一人の女性の小さな魂が大きく揺れる。戦争とは、原爆とは何だったのか? 渾身の問題作。

作者介绍:

目录:

[夕凧の街 桜の国_下载链接1](#)

标签

漫画

日本

夕凧の街桜の国

绘本

こうの史代

反战

原爆

日本語

评论

这大概是06年最值得看的一本漫画。

呜呜呜

屍に囲まれてキスをした。

"我可以若无其事的跨过尸体走路了，偶尔会踩个正着，因烧灼的皮肤剥落而滑倒。鞋底融化粘着在炽热的地面上。我成了可以冷静选择还没腐烂的欧巴桑她们鞋子来穿的人"

やり切れない。

故事和分镜都很棒很棒

看日本的反战题材总是很纠结 从普通民众的角度想 大家都是平等的
你不伤害我我不伤害你便是极好 却又会想 作为侵略国的民众的你们
凭什么在那儿哀怨？可是政府发动的战争
和大多数的普通老百姓又有何关系呢。。。愿世界和平

因为里面的一句话，可能有人又不喜欢了。不能要求太多

広島原爆平和祈念公園で買ったた、感動させていただきました

[夕風の街 桜の国 下载链接1](#)

书评

对战争时期日本带给别国人民的苦难毫无表现，仅仅描述日本本土所受的创伤。但作品对于战争尤其是核战带给普通民众的，剧烈和影响深远的生理与心灵双重伤害，战后重建期经济上的困境，做出了具体而微的描绘，丰富而立体，却又有一种别具一格的坚韧

和隐忍，既哀伤又温暖，既现实...

短短的一卷，平淡朴实的画风，寻常的生活场景，画中人的悲痛却透过画面传过来。抗日战争，罪魁祸首是日本军国主义，可日本民众却也不能说是无辜的。原爆当初于我来讲，只是无聊的历史课本上的一页，当年甚至还有几分痛快。随着了解的增多，渐渐明白，核爆并不是那么简单的一...

[夕風の街 桜の国 下载链接1](#)